

広報

No.144

古河

9  
SEPTEMBER  
2017





# 第12回 古河花火大会

～わたらせの夏の夜空に咲く大輪～

8月5日、第12回古河花火大会が開催され、三尺玉2発を含む約2万発の花火が夜空を彩りました。

会場を埋め尽くした観客から沸き起こった大きな歓声と拍手。約20万人もの観客がわたらせの夏の夜空に咲く大輪に魅了されました。







## 悪戸新田獅子舞

悪疫の退散を祈願して舞ったのが始まりとされる悪戸新田獅子舞。市の指定無形民俗文化財です。

7月31日に、約30人の一行が市内各所を巡りました。獅子頭を被った3人の子どもたちは、太鼓を打ち鳴らしながら笛の音に合わせて舞いました。

悪戸新田出身者によって保存会が結成されて今年で90年。これからも大切に守り伝えられていきます。

## 夢あんどんと夕涼み

旧古河藩家老、鷹見泉石たかみ せんせきの資料などを収蔵する古河歴史博物館のPRを目的としてスタートし、今では夏の風物詩として定着した夢あんどんと夕涼み。今年は、8月14日・15日に古河歴史博物館、鷹見泉石記念館、古河文学館を会場に開催されました。

市民が作成した約800基のあんどんに火が灯され、水面に映る幻想的な明かりに多くの人が見入っていました。





# 古河盆踊り大会

8月14日、第61回古河盆踊り大会が古河第四小学校校庭で開催されました。今回は記録的な長雨となり15日は中止となってしまいましたが、幸いにも初日の14日は午後から雨もあがり、多くの来場者がありました。

古河城をしのぼせる櫓の上では、おはやし団体が「古河甚句」「枕河盆踊り唄」などを生演奏。来場者は地元古河の風情にひたりながら踊りました。



交通死亡事故発生件数  
県内ワースト1位(市町村別)  
※平成29年7月末日現在。

# 考えてみませんか？ 悲しむ人を増やさないためにできる交通安全

茨城県で発生している交通事故死者数は全国ワースト6位(平成29年7月末日現在)。その中で高齢者(65歳以上)が約50%を占めています。

一緒に過ごす家族や友人を悲しませないように、事故に遭わない・起こさないためにできることを学びませんか。【問】防災交通課(総和庁舎) ☎92-3111

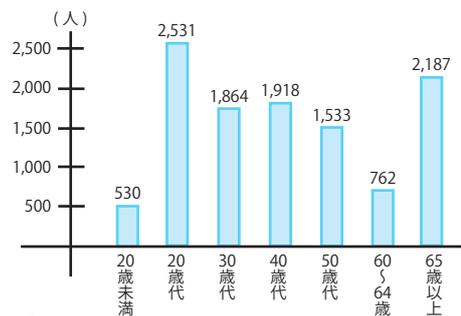
## 交通事故で命を失う約50%は高齢者

平成27年に県内で発生した交通事故は約1万1,600件。そのうち、高齢者が関係する事故が約2,200件で全体の18.9%です。

その中でも、死者数に注目すると、140人のうち69人(49.3%)が高齢者。さらに、そのうちの51人(73.9%)が歩行中もしくは自転車運転中に尊い命を失っています。

Pick Up!

茨城県内の交通事故発生数(年代別)



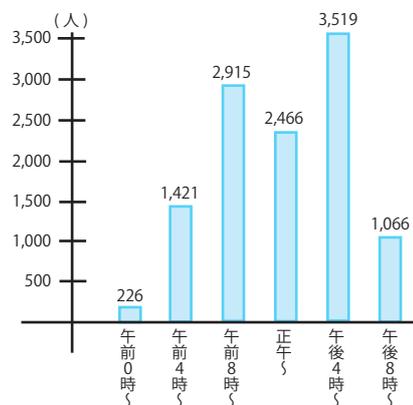
資料：平成27年茨城県交通白書

## 気持ちの焦りや緩みが招く交通事故

交通事故の発生する時間帯を見ると、午後4時～7時の夕暮れ(薄暮時)に発生する事故が多くなっています。歩行者等の発見が遅れ衝突する事故に繋がりますので、早めにライトを点灯し、スマートフォンなどを操作しながらの「ながら運転」はやめましょう。

Pick Up!

茨城県内の交通事故発生数(時間帯別)



資料：平成27年茨城県交通白書

### 【豆知識】

- ①交通事故発生は金曜日が一番多い
- ②交通事故による死亡は月曜日と土曜日がが多い



ハイビーム  
点灯が原則



### ⚠️ 夕暮れ時に注意 ⚠️

前照灯を早めに点灯することで、歩行者などを見つけやすくなります。  
また、自身の存在を知らせることになり、事故を防ぐことにつながります。



運転手が歩行者を見つけるためには、反射材が有効です。事故に遭わないためにも、反射材等を身につけて、自身の安全を守りましょう。

### ⚠️ スマートフォン使用は違反です ⚠️



「ながら運転」による交通事故発生が非常に増えています。よそ見運転になるだけではなく、集中して運転できないので重大事故の原因となります。



自転車運転中のスマートフォン操作も「ながら運転」になります。交通違反になるので「私は大丈夫」という認識は捨てましょう。

## 悪質商法に気を付けましょう

高齢者を狙った事例が多発しています。平成28年度、市消費生活センターに寄せられた相談は699件。そのうち65歳以上の高齢者が関わる相談が約228件(33%)ありました。

高齢者の多くが抱えている「お金」と「健康」に関する不安に悪質業者が巧みに付け込むケースがみられます。

また、一人で自宅にいて「孤独」を感じる高齢者も少なくなく、訪問販売や電話勧誘販売などのトラブルにも遭いやすいため、注意しましょう。

【問】商工政策課(古河庁舎) ☎22-5111

### 【相談内容】 電話勧誘

「市内で有料老人ホームの建設工事が始まるので、ご迷惑をかける」と電話がかかってきた。その後、大手証券会社を名乗る人から「新しくできる有料老人ホームは、地域の人が優先的に入居できる権利がある。入居したい人がいるので権利を譲ってほしい」と電話があった。翌日、大手証券会社を名乗る人からまた電話があり断ると、「あなた名義の権利を他の人に譲ったので罪になる」と言われた。譲った覚えはなくどうしたらよいか。

### 【対応】

有料老人ホームの建設予定はなく、入居者権利はウソの説明です。断っているのですから相手にしないことです。今後は電話に出ないようにしましょう。

### ～センターからのアドバイス～

「名前を貸すだけ」などと説明されても、後からさまざまな口実で金銭を要求されます。一度お金を払ってしまうと次々と請求され、取り戻すことが極めて困難です。金銭の要求には応じないようにしましょう。



### 古河市消費生活センターのご案内

「おかしいな」「不安だな」と思ったらすぐにご相談ください。相談は無料です。

場所 古河庁舎2階(商工政策課内)

相談日 月曜日～金曜日

時間 午前9時～正午、午後1時～4時

電話番号 ☎23-1718

三和庁舎で出張相談を行っています

【毎月第4火曜日】

※詳細は問い合わせください。

### 出前講座開催中

最新の悪質商法の手口や対処法、被害に遭ってしまったら……など、消費生活相談員がわかりやすく説明します。

【申込・問】商工政策課 ☎22-5111



# 認知症は、 他人事じゃない。



9月は「茨城県認知症を知る月間」、9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。多くの方が認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族が安心して生活できる地域を作っていきましょう。

【問】高齢者サポートセンター総和(総和福祉センター「健康の駅」) ☎92-5920

## ■認知症は誰にでも起こりうる

認知症は脳や体の病気が原因で、記憶力や判断力が低下し、日常生活に支障をきたす状態です。誰にでも起こる可能性があります。

## こんな症状があったら認知症かも？

- 何度も同じことを言う、聞く
- 段取りや計画が立てられない
- 財布や物が盗まれたという「ものとり妄想」が見られる
- 暴言・暴力行為
- 徘徊による行方不明 など

## ■認知症と単なる「もの忘れ」との違い

認知症の「もの忘れ」	認知症と単なるもの忘れの違い	単なる「もの忘れ」
体験の全てを忘れる	認知症と単なるもの忘れの違い	体験の一部を忘れる
もの忘れの自覚がない		もの忘れの自覚がある
親しい人やよく行く場所がわからなくなる		親しい人やよく行く場所は忘れない
性格に変化がある		性格は変わらない
自分の今いる場所や時間がわからなくなる		自分の今いる場所や時間はわかる

## 認知症について学び理解しよう

市では、「認知症サポーター養成講座」の開催や「認知症ガイドブック」の配布を行っています。詳細は問い合わせください。



## 「高齢者等見守り活動に関する協定」締結

7月21日、株式会社シニアライフクリエイティブ(宅配クック123)、まごころ弁当の2事業所と協定を締結。高齢者等の見守り体制の強化につながります。



▲(右から)宅配クック123柳沼店長、株式会社シニアライフクリエイティブ光本SV、針谷市長、まごころ弁当佐野店長

## ■認知症の人への接し方

「認知症の人は自覚がない」は大きな間違いです。認知症の人が自らの変化に戸惑い、不安を感じながら生活していることを、十分に理解して接することが重要です。

### ～接し方のポイント～

- 言うことを否定しない
- 話題や場面を変えて、関心をそらせる
- 認知症の人の認識(世界)に合わせる
- 叱らない、説得しない
- 失敗しないような状況(環境)をつくるなど

行動の動機や背景を考  
えて対応しましょう



### ～こんな時はどうする？①～

#### 「ごはんを食べていない」と言う

「今準備しますね」などと言い、ひとまずフルーツなどを渡したり、あらかじめ食事の量を減らし、後でおにぎりなどを出すなどの対応がよいでしょう。

「さっき食べたでしょ」  
は逆効果！



### ～こんな時はどうする？②～

#### 「財布を盗られた」と言う

家族が見つけてしまうと「やっぱり盗んだのか」と思い込む場合があります。まずは共感し、本人と一緒に探してあげましょう。

本人が自分で見  
つけることができる  
工夫をしましょう



### ～こんな時はどうする？③～

#### 一人で出かけようとする

認知症の人は時間の感覚が昔に戻り、生まれ育った家や会社に行こうとする場合があります。しばらく外を一緒に歩き、折を見て帰るよう誘導しましょう。

名前や連絡先を衣  
類などに縫い付け  
ておくのも大切！



## 困ったことがあれば相談を

### ◆高齢者サポートセンター (古河市地域包括支援センター)

地域で暮らす高齢者のための「総合相談窓口」です(市内3カ所に設置)。認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族に対する支援・相談業務を行っています。

「家族が認知症かもしれない」「面倒を見るのが負担になっている」と思ったら、ぜひご相談ください。

### ◆在宅介護支援センター

市が委託している「高齢者やその家族等の身近な相談窓口」です(24時間365日相談可能)。お住まいの地区の支援センターに介護保険や高齢福祉サービス、認知症のことなど何でもご相談ください。

高齢者サポートセンター、  
在宅介護支援センターの詳  
細はQRコードからアクセス



## 第3次古河市行政改革大綱 平成28年度実績報告

6月30日に開かれた「古河市行政改革推進委員会」で各委員からいただいた意見・要望は、各課の業務に反映させ、より良い行政サービスの提供に努めます。

詳しくは、市公式ホームページをご覧ください。【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

### 重点目標1 健全財政の確立

将来にわたる財政の健全性を保つため、「実質公債費比率」と「将来負担比率」の2つの財政指標に着目し、健全財政の確立に努めています。

年度	実質公債費比率 (H24との比較)	将来負担比率 (H24との比較)
H24	9.9%(－)	116.1%(－)
H26	8.9%(△1.0)	102.0%(△14.1)
H28(推計値)	8.6%(△1.3)	89.5%(△26.6)

#### ～実質公債費比率～

市の一般財源の規模に対する返済額の割合を表したもの

※25%以上で注意、30%以上で財政的に危険な自治体とされます。

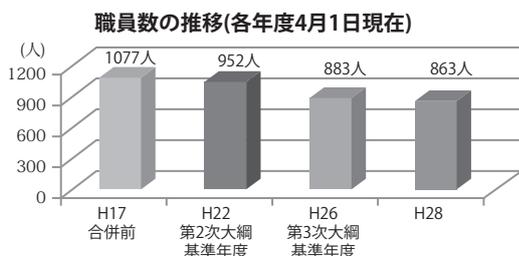
#### ～将来負担比率～

市の借入金の大きさを財政規模に対する割合で表したもの

※350%を超えると注意が必要な自治体とされます。

### 重点目標2 職員数の抑制

行政の実効性の確保や、多様化・高度化した市民ニーズにきめ細かく応えていくため、職員の適正な配置を行い、行政サービスを低下させないように努めました。



### 重点目標3 ファシリティマネジメントの確立

公共施設の分野別の管理・運営等の方針を策定し、市有財産を経営的視点から企画、管理、活用する仕組みを進めるための審議を行いました。今後の持続可能な行政サービスの提供につなげます。

#### ファシリティマネジメントとは

次世代の負担を少しでも軽減するため、既存の公共施設を効率的・効果的に管理運営すること

### 行政改革推進委員からの主な意見

#### ●健全財政の確立について

実質公債費比率や将来負担比率について、上限値の設定に加えて将来の目標値を設定するなど、さらなる健全財政の確立に向けた取り組みを期待する。

#### ●ファシリティマネジメントについて

公共施設は教育文化の発展や地域の絆の醸成に欠かせないものである。公共施設の管理および運営にあたっては、地域における施設の役割を十分に検証し、効果的に運用されたい。



▲実績報告に対して市へ意見書を提出した中田委員長(中央)、峯副委員長(右)

# 「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」という 言葉をご存じですか？

働く全ての人たちが、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動など「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる生き方のことです。

しかし、現実では「安定した仕事に就けず、経済的に自立できない」「仕事に追われ、心身が疲労している」「仕事と子育てや親の介護との両立が難しい」などの理由で、多くの人が「ワーク・ライフ・バランス」を実現できていないようです。

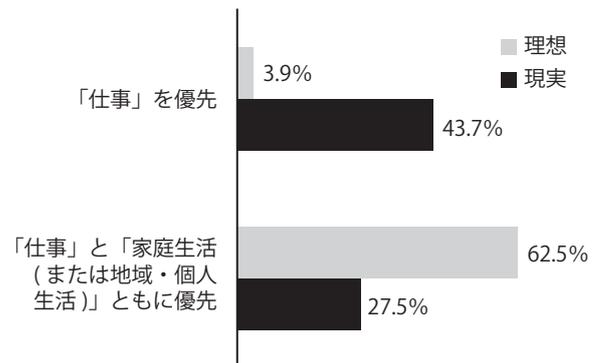
【問】人権・男女共同参画室(総和庁舎) ☎92-3111

仕事と生活の  
バランスを取りたい人が  
6割以上  
……  
現実には仕事優先が  
4割以上

## 理想と現実のギャップ

平成28年度に市が実施した「男女共同参画に関する意識調査」(無作為2,000人が対象)では、理想は『「仕事」と『家庭生活(または地域・個人生活)』ともに優先』という回答が合わせて6割以上でしたが、現実では「仕事を優先」という回答が4割以上と最も多く、理想と現実にギャップが見られます。

## 仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度



平成28年度「男女共同参画に関する意識調査」(古河市)から抜粋



▲地域活動に参加する市民。日々を充実させ「ワーク・ライフ・バランス」を実現しよう！

## 実現に向けて

人生の各段階において多様な生き方を選べる「ワーク・ライフ・バランス」社会の実現に向けて、市民・企業・行政が連携し、「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担意識の解消や、長時間労働の削減を含めた「働き方の見直し」など、社会全体で意識改革に取り組むことが重要です。

# 注目! まちの話題

旬の野菜の収穫体験  
茨城を食べよう運動推進事業

市内農家の女性グループ「食遊三和」<sup>しよくゆうさんわ</sup>が、7月9日にとうもろこし収穫体験を開催。野菜を収穫してから食べるまでの過程を学び、旬の味を知るきっかけを作りたいという、食育にかけるメンバーの思いがたくさん詰まっています。

参加した68人の親子は、より大きく育ったとうもろこしを探して汗を流しました。収穫の後は、網焼きにしたとうもろこしを食べてみんな大満足。これからも色々な旬の野菜にチャレンジしてくださいね。



▲お母さんと一緒に収穫して「ハイ、チーズ!」。流した汗の分だけおいしく食べられたかな

## 古代にタイムスリップ!? 夏休みこども講座「勾玉づくり」



▲一生懸命に石を削る子どもたち。出来上がりが楽しみです

8月6日、燦SUN館<sup>さん</sup>(三和図書館資料館)で夏休みこども講座<sup>まがたま</sup>「勾玉づくり」が開催されました。市内の小学生24人が参加し、オリジナルの勾玉のネックレスを作りました。

印がついた石を2種類のやすりで一生懸命に削る子どもたち。勾玉特有の曲線に苦労しながらきれいに形作っていきます。最後に水につけながら削ると、ピカピカの勾玉が完成。ひもを通してネックレスにし、身に着けた姿はとても満足そうでした。

古代のアクセサリーだった勾玉。歴史を少し学んだ夏休みの一日となりました。

## 苦手な野菜も食べられたかな 親子料理教室



▲今日頑張ったことをおうちでもパパ・ママと一緒にやってみよう

8月8日、総和福祉センター「健康の駅」で古河市食生活改善推進協議会による親子料理教室が開かれました。

「楽しいお弁当作り」をテーマに、お弁当作りに大切な食材選びや衛生面の注意などの講義を受け、調理実習がスタート。野菜の皮むきやウインナーを包丁で切ったり、肉を巻いて焼いたり慣れない手つきで一生懸命調理し、7品のおかずを作りました。

最後は、食生活改善推進員からのスープとデザートプレゼントと共に自分で作ったお弁当をおいしく食べました。

## 第30回 全国高校招待女子 ソフトボールフェスティバル

今年で30回目を迎えた全国高校女子ソフトボールフェスティバルが、8月13日・14日に開催されました。古河第二高等学校の女子ソフトボール部がインターハイに10回出場したことを記念して開催されたこの大会。

今年も、全国大会の強豪校である埼玉栄高等学校や山形学院高等学校など1都7県から16校が参加しました。悪天候により日程の変更もありましたが、どの試合もレベルの高い熱戦が繰り広げられました。

この大会は秋の新人戦に向けた前哨戦。地元から出場する古河第一高等学校、古河第二高等学校も含め、この大会参加校が各都県の上位入賞を果たすことを期待します。



## 祝 全国大会出場

### ○第一三共ヘルスケア・レディース2017 第40回全国レディース卓球大会

【団体戦の部】

SPC

### ○第36回全日本クラブ卓球選手権大会

【男子一般2部】

OnlyOne

### ○第24回全日本シングルスソフトテニス選手権大会

寺田理紗さん(古河クラブ)

### ○第9回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

落合弥生さん(古河市剣道連盟)

### ○第52回全国道場少年剣道大会

【小学生 個人の部】

久保谷凜さん(青雲塾剣誠会)

【小学生 団体の部】

青雲塾剣誠会、総和剣道クラブ

【中学生 団体の部】

青雲塾剣誠会

### ○第57回全国中学校水泳競技大会

【個人女子200m背泳ぎ】

小野舞夏さん(古河第一中学校)

【個人男子100m背泳ぎ】

忍田尊さん(三和中学校)

### ○第44回全日本中学校陸上競技選手権大会

【男子棒高跳】

倉持歩希さん、内田瑠輝さん、田村勇太さん(総和南中学校)

【女子100m】

恩田希々花さん(古河中等教育学校)

【女子200m】

恩田希々花さん(古河中等教育学校)、香取優芽海さん(三和中学校)

【女子4×100mリレー】

香取優芽海さん、小島亜海さん、奈桐瑞月さん、小柳沙耶さん(三和中学校)

### ○第34回全日本少年軟式野球大会

【県西選抜】

江森一杜さん(古河第一中学校)

### ○秩父宮賜杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会

【男子円盤投】

中澤勸二さん(三和高等学校)

### ○第99回全国高等学校野球選手権大会

鶴見恵大さん(土浦日本大学高等学校)

### ○第44回全国高等学校空手道選手権大会

【女子個人組手】

宇都木未歩さん(花咲徳栄高等学校)

## キラリ! 輝く人たち

2年前から古河公方公園(古河総合公園)で開催されている「トロマル～古河デ蚤ノ市～」市内だけでなく埼玉県や栃木県、群馬県などから多くの人押し寄せます。古物による蚤の市を主催するトロマル実行委員会に開催のきっかけや地元古河に対する思いを伺いました。

### 別々の道を歩む2人が巡り合う

「トロマル」はドイツ語でトローデルマルクト(蚤の市)の略称。岩井さんはドイツに行った際、ベルリンで見た蚤の市の光景が忘れられず、自分が住む古河でもこんな素敵な雰囲気蚤の市をやってみたくて思っていたそうです。

金子さんは「古河公方公園づくり円卓会議」のメンバーとして公園の有効活用(たすき)に携わり、公園の素晴らしさをどうしたら多くの人に伝えられるのかを常に考えていました。

そんな2人は4年前に市内で開催されたまちづくりイベントで知り合い、お互いの目標や夢に話が盛り上がり意気投合。別々の道を歩んできた2人が合流し、大きな流れとなって突き進むことになりました。

### 自分がこのまちにできること

2人が考えるのは「開催したイベントで、にぎわうだけではなくみんなが楽しく参加できる関係になれること。出店者、お客さん、来園者みんなが楽しむことができ、この場所を好きになってもらいたい。イベントが無くても、このまちを訪れたいと思えるファンをたくさん作りたい」と話します。

トロマル開催と同時に企画したのは、遠くから古河に来た人にまち巡りをしてもらい、さらに古河のファンになるきっかけ作り。そのため作成したのが「トロマガジン」「トロマップ」というまち巡りの情報誌でした。

## 「古河のまちを巡る宝探し」

岩井清志さん(42歳・横山町)

金子典子さん(43歳・中田新田)



蚤の市は一種の宝探しのようなもの。イベント会場を飛び出して古河のまちに点在する素敵なお店を巡ってもらい、そこでも宝探しをしてもらいたいという気持ちが詰まっています。

### 古物をまちの誇れるものに

初めは「蚤の市って何?」と思う人も多くいましたが、今では多くの人に広がり、2万5,000人以上の人が集まる人気イベントに成長。「トロマル」の開催を楽しみに待つ人もたくさんいるそうです。

それだけではなく「普段からトロマガジンを片手にまち巡りをし、お宝を探す人が増えたことが素直にうれしい」とまちなかで起きている変化を笑顔で話します。

2人のまっすぐな人間性に出店者が惹かれ、2人が作り出すセンスあふれる会場の雰囲気に来場者が惹かれる。そして、まちを思う気持ちに地元商店が惹かれ賛同する。これから2人を中心にどのように広がっていくのか楽しみです。



第5回トロマル～古河デ蚤ノ市～  
日時：10月1日(日)午前10時～  
場所：古河公方公園



## 図書館のオススメ

### 【児童書】

#### ○春くんのいる家

岩瀬成子 作

両親が離婚したあと、母とふたり、祖父母の家でくらす日向。そこに祖父母の養子になって加わった、いとこの春。「祖父母、母、春、日向」を、春は「家族みたいなもの」というが、日向はなんだかややこしいと感じていて……。

出版社…文溪堂  
分類…913イ



### 【絵本】

#### ○ようかいりょうりばんづけ

澤野秋文 作

妖怪の世界のグルメ覆面調査員のとうふこぞうが出会った、おそろしいほどぼそぼそしたとうふ。「こんなにおいしいものは初めて!」と、早速料理番付で紹介すると……。奇想天外で



楽しいおはなし。見返しに妖怪のイラストあり。

出版社…佼成出版社  
分類…Eサ



### 【一般書】

#### ○はかりきれない世界の単位

米澤敬 著

日光のなかに浮遊する塵の数「トラサレーヌ」、猫がひと跳びする距離「カツツェンシュプルング」……。近代化とともに使われなくなった、人間味あふれるちょっとおかしい単位50をイラストとともに紹介します。

出版社…創元社  
分類…609ヨ

#### ○探偵さえいなければ

東川篤哉 著

関東随一の犯罪都市と噂される烏賊川市では、事件もたくさん起こるけど、探偵もたくさんいるのです。ひょっとしたら、探偵がいなければ事件も起こらないのかも……。安定感抜群のユーモアミステリ5編を収録した傑作集。

出版社…光文社  
分類…Fヒガ



三和図書館

## 注目 企業人

### ～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「全ては快適な暮らしのために」

セメダイン株式会社 石原奈穂子 さん

接着剤やシーリング材、粘着剤などを製造する会社で、壁や床など建物内装用の商品開発に携わる石原さん。「小さい頃から母が小物作りに接着剤を使っていて、身近に感じていた」ことが入社のかっけです。

原料を混ぜては耐久試験を繰り返し、素材の接着に最適な配合率を日々追求する中で強く感じるのは「接着剤は生きもの」ということ。混ぜるとすぐに固まったり、湿気で固まったり、種類によって性質が全く違うので、配合や保存方法には最も気を使います。

最近、住宅メーカーと一緒に現場で立ち会うことも増えてきました。シリコン、ウレタン、エポキシ樹脂など貼り合わせる

素材によって、求められる接着性や耐久性は微妙に変わるので、取引先から直接要望を聞き取ることが欠かせません。

会社のイチ押し商品を伺うと「すり減った靴底の補修に重宝する『シューズドクター』です」と笑顔で話してくれました。

「自分が手掛ける開発段階の商品があるので、今後ぜひ商品化したい」と意気込む石原さん。どんな商品が生まれるのか、楽しみです。

#### ■プロフィール

入社6年目。休日はドライブに出かけます。数年前まではサバイバルゲームもしていました



# 古河文化見聞録

## 旅する近美 古河へ ～茨城県近代美術館移動美術館開催～

今秋の古河歴史博物館の特別展は、茨城県近代美術館「移動美術館」です。県近代美術館所蔵作品が日立を皮切りに、筑西、古河、そして土浦の県内4カ所をめぐる。

茨城県近代美術館は、空調設備工事のため平成30年1月中旬まで休館となります。本展覧会は、その期間の所蔵作品の有効活用を図り、茨城県近代美術館から遠く離れた地域の県民にも、同館所蔵の優れたコレクションを鑑賞する機会を設けようと企画されたものです。

### 茨城県近代美術館の歴史とコレクション

水戸、千波湖のほりにある茨城県近代美術館は、昭和63(1988)年に開館し、来年には開館30周年を迎えます。前身の茨城県立美術館創設から数えると、今年70年という節目の年。長い年月を歩んできた歴史ある美術館であるといえましょう。

茨城県近代美術館は、終戦後の昭和22(1947)年、大洗の常陽明治記念館内に茨城県立美術館として開館したのがはじまりでした。

もっとも、美術館の要となる所蔵作品は、開館約1カ月前まで1点もない状態、いわば文字通りゼロからのスタートだったといいます。美術館にとって所蔵品は館の性格を形作る大切な要素。終戦直後の混乱の中にあっての作品収集は容易なことではありませんでしたが、ここに茨城の郷土作家を中心にしたコレクションづくりの第一歩が踏み出されたのでした。

その後、茨城県立美術館は昭和31年に水戸市内の茨城県庁敷地内にある県立図書館2階

に移転。さらに、昭和41年には千波湖畔の県立県民文化センター内に移転し、茨城県立美術博物館と改称して開館しました。

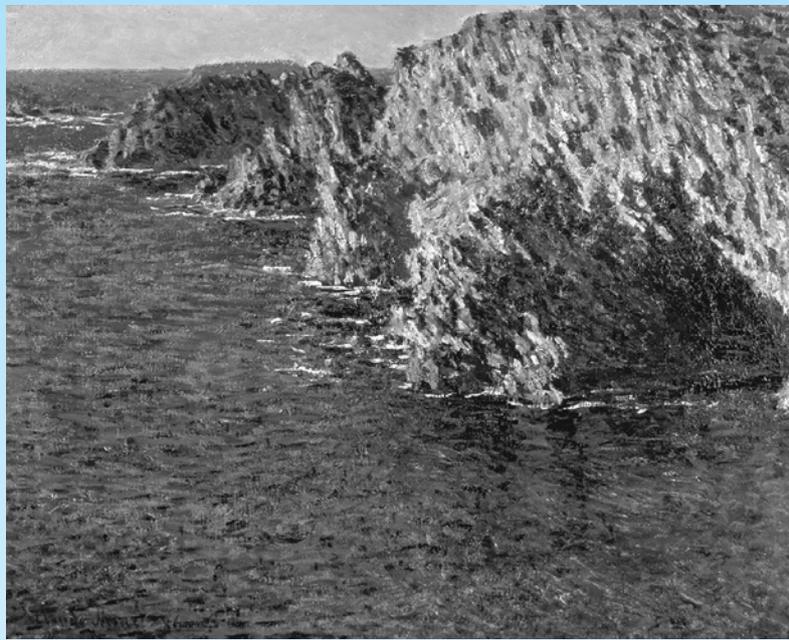
長らく併設館として活動しながら地道に作品収集を行ってきた努力の結果、独立館の茨城県近代美術館(以下、近美)として開館する頃には、約1,000点ものコレクションをつくりあげることができたのでした。茨城ゆかりの作家のほか、西洋絵画や国内外の優れた作品にも目を向けた幅広いコレクションは、現在、約4,000点を数えます。近美は茨城の近現代美術の宝庫といってよいでしょう。



▲茨城県近代美術館 外観

### 茨城の洋画史を概観

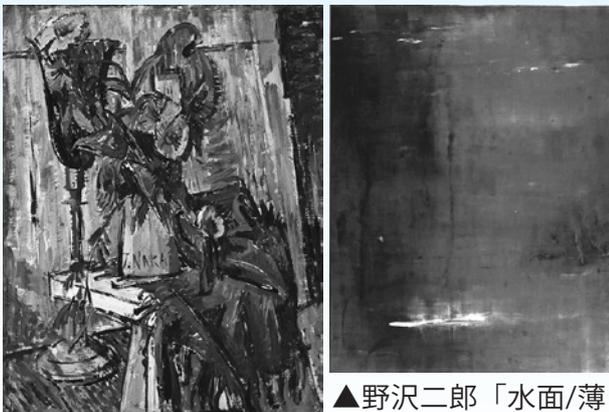
さて、このたびの展覧会は、近美コレクションの中から選ばれた、近代から現代までの茨城ゆかりの作家たちによる洋画作品を中心に構成しています。中村彝や辻永、熊岡美彦、鈴木良三といった茨城洋画壇を代表する作家から、山本文彦、野沢二郎など現在活躍中の作家まで、茨城の洋画史を彩る画家たちの作品が目白押しです。



◀特別出品 クロード・モネ 「ポール＝ドモワの洞窟」1886年

本展覧会の見どころはさまざまですが、近美コレクションの核のひとつで、近代日本を代表する洋画家、中村彝(1887～1924)の作品は見逃せません。

水戸に生まれた中村彝は、レンブラント、ルノワール、セザンヌなどのさまざまな西洋絵画を学び、独自の作風を創り出しました。持病の結核と向き合い、37年という短い生涯でしたが、深淵な精神性をたたえる作品を描いて、日本美術史上に大きな足跡を残しています。



▲中村彝「花」1923年 ▲野沢二郎「水面/薄明」2011年



▲熊岡美彦「緑衣」1925年

### 印象派モネの特別出品

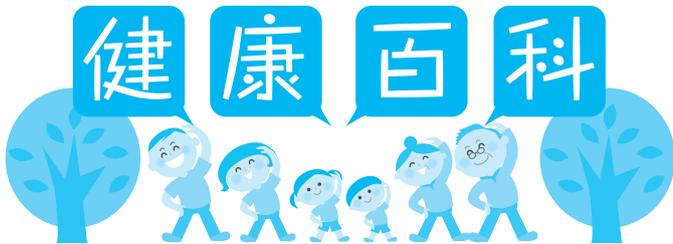
近美の西洋絵画の収集は、中村彝に影響を与えた印象派の画家オーギュスト・ルノワールの作品を、昭和56年度に購入したことに始まります。その後、近美の開館記念展が「モネとその仲間たち」であったことから印象派の収蔵品が増え、西洋絵画のコレクションが充実していきました。

本展覧会では、印象派の巨匠クロード・モネの作品が特別出品されます。フランス西北部、ブルターニュ半島の南の島ベリール(「美しい島」を意味する)の海岸を描いた作品「ポール＝ドモワの洞窟」です。当時制作旅行に明け暮れていたモネが、荒海と入り組んだ断崖、奇石で有名なこの島で描いた約40点の作品のうちの一つで、近美コレクションの白眉とされている作品です。遠くフランス、ブルターニュ地方の光と空気の中で描かれたモネの名品を、古河の地で鑑賞できる絶好の機会となるでしょう。

移動美術館の会期は、9月16日(土)から11月5日(日)まで。入場は無料です(常設展は有料)。期間中は、近美のスタッフによるハロー!ミュージアム、ミニ・ガイド&ミニ・ワークショップ、そのほかの関連イベントも多数開催されます。皆様のご来館を、心よりお待ちしております。

古河街角美術館学芸員 倉井直子

※次号(平成29年10月号)は休載します。



## 認知症を知ろう

今、65歳以上の高齢者のうち、7～10人に1人が認知症ないしはその前段階にあると言われます。平均的な地方都市の古河市では、高齢化率も約26%で全国平均レベルです。したがって、65歳以上の高齢者3万6,000人のうち、少なく見積もって10人に1人とすれば3,600人になるので、約4,000人が認知症ないしはその予備軍と考えられます。これは少なくない人数だということがお分かりいただけると思います。高齢になればなるほど認知症になる確率は高くなります。

認知症は、約半数がアルツハイマー型認知症、そして動脈硬化が原因で起こる血管性認知症が20%強、パーキンソン症を合併し幻覚が出るレビー小体型認知症が20%弱、残りがその他の認知症です。いずれも残念ながらそれを治す薬はありませんが、アルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症では症状を改善し進行を遅らせる有効な薬があります。ですから、早期に診断を受けて適切な治療を受けることが必要です。

### 早期に気が付くヒント 「物忘れがひどくなる」

認知症は、徐々にゆっくり進むものですから、いつも一緒にいる家族には分からないことが多いと思います。でも、早期に気が付くヒントは

あります。やはり、最初は物忘れがひどくなることです。これは、もしかすると本人が最初に言い出すことがあると思います。その時、周りの人たちは「年のせい」などと簡単に片づけないことが大切です。

特にアルツハイマー型認知症では、その場の受け答えはまったく問題なくできるので、まさか認知症と思わないことが多いのです。その場の受け答えはできても、それを覚えていないことが多くなるのです。

認知症と分からずにそのまま進んでしまうと、妄想や幻覚が出て、本人ばかりか周囲の人たちも困ることになります。妄想や幻覚がなくても、判断力がなくなり、とんでもないことをやってしまうことにつながります。車の運転をする人は、とんでもない事故を起こしたりしますよね。



### 認知症の疑いがあれば 運転免許証の自主返納を

認知症による車の事故を減らすため、今年3月に道路交通法が改正されて、免許証の更新の際に、75歳以上の高齢ドライバーには認知機能のチェックが義務付けられまし

た。それで異常があるとされると、医師の診断を受けることが必要になり、その結果認知症と診断されれば免許証が取り消しになってしまうのです。これは大変です。車の運転ができなくなるのは当然ですが、身分証明書として使ってきた運転免許証がなくなってしまうのです。

このため国は、認知症の可能性があると考えられた時点で、自主的に運転免許証を返納するように呼びかけています。自分から免許証を返納すれば(自主返納といいます)、運転経歴証明書というものを発行してもらえます。これは運転免許証のように身分証明書として使えます。これは書き換えの必要ない身分証明書です。



このように、認知症は早く見つけて早期に対応することが重要です。

古河福祉の森診療所  
赤荻栄一

# 憩いのパークの魅力

## 秋の風情「ホツケ田」と「ススキの小径」

### ～古河公方公園～



◀公園の農の風景のひとつとして親しまれている「ホツケ田」

9月は収穫の秋、稲刈りのシーズンです。皆さんは古河公方公園の南側、御所沼のほとりに「ホツケ田」という田んぼがあるのをご存じでしょうか。民家園や茶畑などと並び、公園の農の風景のひとつとして親しまれています。

ホツケ田とは、湖沼や湿地などを掘り付けて作った田んぼのことで、この地方ではそれをホツケ田と呼んでいたようです。

平成12年5月に「どろんこクラブ」がスタートし、ホツケ田の再生と管理が始まりました。現在も親子約50人のメンバーが元気に活動しています。

5月の田植えではメンバーが育てた苗を植え、今ではたくさんの穂を付けています。今月末に収穫を行うと、ホツケ田はひとまずその役割を終えます。

ホツケ田から西へ向かう園路は、通称「ススキの小

径」。これからの季節オススメのお散歩コースです。両側にススキが生い茂り、公園の秋を演出してくれています。



▲ススキの小径

この他にも、サルスベリ、ハギ、彼岸花、コスモスといった植物が秋の公園を彩ります。散策がしやすい季節になってきました。公園の秋を探しにぜひお越しください。

【問】古河総合公園管理棟  
☎47-1129

## 表紙写真



古河の夏の風物詩として定着してきた「夢あんどんと夕涼み」。大好きなパパを描いたあんどんに火が灯り、ゆらゆらと揺れる明かりを見て何を考えているのかな。

8月15日は雨が降ってしまい、古河歴史博物館の玄関前での展示でしたが、たくさんにあんどんに囲まれる空間は、いつもとは違う世界でした。

かわいらしい虹色の合羽も柔らかな明かりに包まれ、とても幻想的に見えていました。

## 寄付

小池武男さんより、総和福祉センター「健康の駅」、いちようプラザ他へアルミ製車椅子3台、車椅子の付属品1式、アルミ製4点杖6台の寄付。

## 古河市データ

### 人口

(8月1日現在) 住民基本台帳から  
総人口 144,303人 (-31)  
男 72,749人 (-35)  
女 71,554人 (+4)  
世帯数 60,388世帯 (+99)  
( ) 内は前月比

わが家の **アイドル**



宇都木 <sup>まな</sup> 茉奈ちゃん (1歳5カ月・前林)

いつもとびっきりの笑顔で家族を喜ばせてくれる茉奈。茉奈と一緒に過ごす毎日が、私たちにとっての宝物です。これからも、健やかに成長して行ってね♥

(父：大輔 母：千絵)

Kogastagram

古河市 citykoga-official



ID:Kaison24 DATE:2017.7.19 #大賀ハス #古代ハス #古河総合公園  
古河市の公式インスタグラムに掲載された写真から、ベストショットを毎月1枚選出し掲載します。「#こが暮らし」「#こが育ち」のハッシュタグを付けて、ぜひ投稿してください。

※投稿にはスマートフォン等に専用アプリのインストールが必要。  
※古河市プロモーションサイトもぜひご覧ください。



●市内幼稚園・保育園等が交替でこのコーナーを担当しています。



## 子育てアドバイス

### 「三つの言葉」



本園では次の三つの言葉を大切にしています。一番目は「待ってたよ」朝、子どもたちを迎える時に「おはよう！」の挨拶と共に「先生、待ってたよ！」と言葉と気持ちを受け入れる！二番目は「大好きだよ」「先生は、〇〇ちゃんが大好きよ」という言葉と気持ちを伝える！三番目は「思っているよ」幼稚園から帰る時、週末の土日会えない時に、「〇〇ちゃんが、おうちでも元気に過ごしているかな。いつも〇〇ちゃんのことを思っているよ」と伝える。

あなたが何を待っています。愛しています。思っています。子どもの情緒を安定させ、健やかに育っていくために欠かせない三つの言葉だと思っています。自分のことを待ってくれる、愛してくれる、思ってくれる人がいる、あなたは必要な、

大切な、かけがえのない存在。人はそんなことを実感できれば幸せで安心な気持ちになります。我が子に「幼稚園から帰ってくるのを待っているよ。大好きよ。いつも思っているよ」そんな言葉をたくさんかけてあげられるパパ、ママってステキですね。

「もう一つのことばかりで幸せになった人はいない、幸せになった人は、相手に幸せをたくさん与えた人！」という話を聞きます。

たくさんの温かい言葉、愛情を受けて育った人は、きつとまわりの人をたくさん幸せにできる人になるでしょう。

他方、待っている人はいない、愛している人もいない、思っている人もいない、これほど恐ろしく冷たいメッセージはなく、相手を「無視する」、人格を壊す行為です。「もう一つのことばかりで幸せになった人はいない、幸せになった人は、相手に幸せをたくさん与えた人！」という話を聞きます。

たくさんの温かい言葉、愛情を受けて育った人は、きつとまわりの人をたくさん幸せにできる人になるでしょう。

柘幼稚園

平成29年9月1日発行  
●発行所/〒3006-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所 ☎0280(92)3111  
●編集/秘書広報課 ●ホームページ/ <http://www.city.kogakogae.jp/>